

スマートみやぎ 健民通信



元気！健康！プロジェクト

企業で目指そう
“脱メタボ”
“受動喫煙ゼロ”

みやぎ健康経営® 応援キャンペーン2016



宮城県知事 村井 嘉浩 氏

健康経営は 次代のスタンダード

少子高齢化などで労働力人口の減少が予測される中、従業員の健康増進を図ることで生産性や企業価値を高める「健康経営」という考え方が注目されています。そこで、河北新報社では宮城県や、全国健康保険協会(協会けんぽ)宮城支部などと協力し、「みやぎ健康経営® 応援キャンペーン」をスタートさせました。第1回となる今回は、健康経営の必要性とともにキャンペーンの主な内容について紹介します。

厚生労働省のデータによれば、宮城県民のメタボリック症候群※の該当者および予備群の割合は、2008年度から6年連続で全国ワースト2位を記録。特に男性の場合は4人に1人が肥満と診断されています。

こうした県民の健康状況を危機感として、県では「脱メタボ」を掲げて健康づくりのための県民運動として「スマートみやぎ健民会議」を設立し、積極的に推進しています。特に働き盛りの世代は日々の仕事に追われ、健康管理がおろそかになりがち。まずは気軽にできることから始めるのが大切です。と語る村井嘉浩知事。県の第2次みやぎ21健康プランの中でも「歩こう！あつ15分」や「減塩！あつ1g」などの合言葉とともに健康づくりを提案しており、知事も自ら実践者の一人。



全国健康保険協会 宮城支部 支部長 高橋 祥允 氏

「おかげで体調も良く、ベスト体重を維持できています」と効果を感じておられます。また、県では受動喫煙防止宣言の発効や、施設登録制度を協会けんぽや仙台市と協力し、昨年度から実施。防止策を講じている職場や飲食店などに登録書とステッカーを交付する場も4人に1人が肥満と診断されています。

こうした県民の健康状況を危機感として、県では「脱メタボ」を掲げて健康づくりのための県民運動として「スマートみやぎ健民会議」を設立し、積極的に推進しています。特に働き盛りの世代は日々の仕事に追われ、健康管理がおろそかになりがち。まずは気軽にできることから始めるのが大切です。と語る村井嘉浩知事。県の第2次みやぎ21健康プランの中でも「歩こう！あつ15分」や「減塩！あつ1g」などの合言葉とともに健康づくりを提案しており、知事も自ら実践者の一人。



「健康経営」とは？
健康経営とは従業員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進を積極的に取り組む企業経営のスタイルのこと。中小企業にとって労働力の維持・確保は今後ますます重要な経営課題です。健康な社員は生産性も高く、業績に貢献できるため、企業が従業員の健康に積極的に配慮することで、持続的な収益が期待できます。

事業主・人事総務担当者が 社員の健康づくりを積極的にサポート
◎健康状況(リスク)の把握 ◎健康づくりの推進
生活習慣病の予防・改善 メンタルヘルス不調の予防・改善

社員が心身ともに 元気に働ける企業に
社員の健康づくりへの投資は、業績にも良い影響をもたらします
健康経営がもたらすメリット
●生産性の向上……モチベーション・業務効率の向上、欠勤率の低下
●負担軽減……疾病予防による傷病手当の減少
●イメージアップ……企業ブランドの価値向上、社内のイメージ向上
●リスクマネジメント……労災発生予防、知識・技能の円滑な継承

企業向け 健康経営 セミナー 開催
今秋、県内複数会場において、企業経営者の皆さまを対象とした健康経営セミナーを開催予定！健康経営実践のための手法や課題について詳しく解説していきます。詳しくは河北新報社にて開催告知予定です。

宮城県の健康経営に関する取り組み概要

スマートみやぎ健民会議 県民の健康と幸せを実現するため、今年2月に発足。「スマートボディ(適正体重)」「スマートライフ(適切な生活習慣)」「スマートアクション(適度な運動)」の3つをテーマに健康づくりの県民運動を推進。

受動喫煙防止宣言施設登録制度 受動喫煙防止対策に講じている施設や事業所に、登録書とステッカーを交付するとともに、ホームページなどでも公表。県民が受動喫煙防止対策に取り組む際の利用を選択することができる環境づくりを促進。
くわしくは、宮城県保健福祉部健康推進課 まで

職場健康づくり宣言(取組) 健康経営に取り組む中小企業を幅広く募集。具体的に実施した企業には、インセンティブを設ける計画。協会けんぽ宮城支部が中心となり、今秋から開始される予定。
くわしくは、協会けんぽ 宮城支部 まで



計画です。この企業にも取り組みやすい内容なので、多くの中小企業の従業員とその家族が対象で、県内の加入数は現在約3万4千4百人。従業員10人未満の企業が多く、事業規模が小さいほど健康づくりへの取り組みが進んでいない現状が問題視されています。

「中小企業にとって、従業員の健康の維持向上は、極めて重要なテーマであり、特に近年の延長などで従業員の方の高齢化がさらに進んでおり、健康経営の実施状況が企業の今後を左右するようになる」と語る宮城支部の高橋祥允支部長は、しよしのし支部長。特に課題となっているのが健康診断の受診率。向上して、各地域の医療機関との連携強化を図っています。また、うつ病などメンタルヘルスの不調も増加していることから、セミナーや出前講座なども定期的に実施しています。

宮城支部では「職場健康づくり宣言(取組)」という新たなアクションプランも作成中。その内容に従って健康経営に取り組む企業には、インセンティブなども設ける予定です。このキャンペーンは、より多くの

「健康経営」とは？
健康経営とは従業員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進を積極的に取り組む企業経営のスタイルのこと。中小企業にとって労働力の維持・確保は今後ますます重要な経営課題です。健康な社員は生産性も高く、業績に貢献できるため、企業が従業員の健康に積極的に配慮することで、持続的な収益が期待できます。

事業主・人事総務担当者が 社員の健康づくりを積極的にサポート
◎健康状況(リスク)の把握 ◎健康づくりの推進
生活習慣病の予防・改善 メンタルヘルス不調の予防・改善

社員が心身ともに 元気に働ける企業に
社員の健康づくりへの投資は、業績にも良い影響をもたらします
健康経営がもたらすメリット
●生産性の向上……モチベーション・業務効率の向上、欠勤率の低下
●負担軽減……疾病予防による傷病手当の減少
●イメージアップ……企業ブランドの価値向上、社内のイメージ向上
●リスクマネジメント……労災発生予防、知識・技能の円滑な継承

企業向け 健康経営 セミナー 開催
今秋、県内複数会場において、企業経営者の皆さまを対象とした健康経営セミナーを開催予定！健康経営実践のための手法や課題について詳しく解説していきます。詳しくは河北新報社にて開催告知予定です。

宮城県の健康経営に関する取り組み概要

スマートみやぎ健民会議 県民の健康と幸せを実現するため、今年2月に発足。「スマートボディ(適正体重)」「スマートライフ(適切な生活習慣)」「スマートアクション(適度な運動)」の3つをテーマに健康づくりの県民運動を推進。

受動喫煙防止宣言施設登録制度 受動喫煙防止対策に講じている施設や事業所に、登録書とステッカーを交付するとともに、ホームページなどでも公表。県民が受動喫煙防止対策に取り組む際の利用を選択することができる環境づくりを促進。
くわしくは、宮城県保健福祉部健康推進課 まで

職場健康づくり宣言(取組) 健康経営に取り組む中小企業を幅広く募集。具体的に実施した企業には、インセンティブを設ける計画。協会けんぽ宮城支部が中心となり、今秋から開始される予定。
くわしくは、協会けんぽ 宮城支部 まで

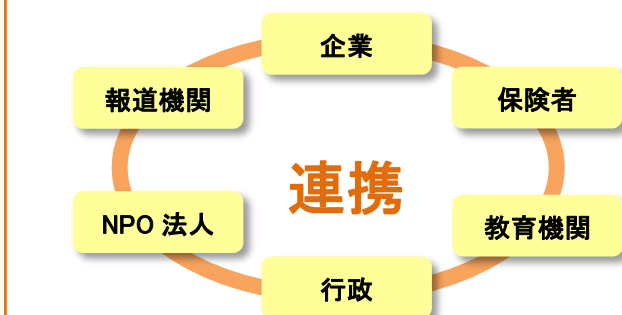
スマートみやぎ健民運動 推進元年

会員同士の連携・コラボで健民運動を推進

全ライフステージへの切れ目のない健康応援体制の構築を目指します

宮城県は、メタボ該当者及び予備群の割合が6年連続全国ワースト2位、子どもの肥満傾向児の出現率や脳血管疾患死亡者数(標準化)の割合が高いなど、県民の健康状態・生活習慣は、子どもから大人まで全ライフステージで課題があります。

スマートみやぎ健民会議の会員



- ◇ 会員同士の情報交換、企業等先進的取組を表彰
- ◇ 報道機関との連携による情報発信
- ◇ 企業向けセミナー等による健康経営の普及
- ◇ 市町村との連携による健康づくりの推進

メタボ率 6年連続全国2位

みやぎスマートスイッチ大作戦

みやぎカイゼンプロジェクト
宮城県の様々な課題を「カイゼン」するために、宮城県を代表するメディアが発起人となり、自治体・企業・団体・個人の夢によって、課題解決を図っていく県民運動です。第1弾は「スマートスイッチ大作戦」と題して、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が、6年連続全国ワースト2位からの「カイゼン」を目指します。

村井宮城県知事から、非常事態宣言が発表されました。

マスメディアとの連携による健康情報等の発信の一例

この課題に全県民一丸で取り組む必要があることから、県では、企業、保険者、市町村等関係団体が連携して健康づくりを推進するため「スマートみやぎ健民会議」を設立し、全ライフステージへの切れ目のない健康応援体制の構築を目指します。

本年度を、スマートみやぎ健民運動推進元年と位置づけ、会員同士の連携による県民への健康情報等の発信を積極的に推進します。

企業や団体の皆さん、ぜひ会員登録を!

現在、健康に関する取組を行っているところはもちろん、これから取り組みたいと考えている企業や団体等も登録できます。登録料は無料です。登録書に必要事項を記入し、ファクシミリまたはメールでお送りください。(個人での登録はできません。)

登録書は「スマートみやぎ健民会議」のホームページからダウンロードできます。

会員登録 募集中

新しい健康づくりの展開は**連携**がカギ



辻教授

健康経営を実践する企業には 株価上昇・優れた人材確保などの効果

平成28年度第1回スマートみやぎ健民会議幹事会が6月1日に県庁で開催され、健民会議の顧問であり国の次世代ヘルスケア推進協議会委員でもある辻一郎東北大学大学院教授から「健康経営等に係る全国の動向について」と題してご講演をいただきました。ポイントについてご紹介いたします。

健康宣言で企業のイメージアップ

国等では健康経営の概要・意義を広く周知し、健康経営に取り組む企業を増やすためのさまざまな政策を進めている。

その一つとして、健康経営の取り組みに優れた企業を「健康経営銘柄」に選定し公表している。投資家が社会的に優れた企業に投資することで株価が上昇、さらに「健康経営を行っている会社は従業員に優しい会社」として、求職者が増加するなどの効果が期待できる。

中小企業で、まず取り組まなければいけないことは、健康経営に向けた機運を高め進めていくこと。具体的には、何らかの健康づくりを実行していく意思表示つまり「健康宣言」である。そういった活動を公表することは企業のイメージアップにもつながる。

健康宣言に期待される効果

- ・ 経営者の意識改革：健康経営の理念を明示
- ・ 従業員の意識改革：自ら積極的に関与
- ・ コラボヘルス：事業主と健保
- ・ 協会けんぽ・自治体の支援
- ・ インセンティブ、会社のイメージ・アップ
- ・ 従業員の健康増進：生産性向上・医療費減少

健康宣言→健康づくりの実施→認定・認証

新しい健康づくりの展開：連携がカギ

- ・ 産業界との連携：健康関連商品・サービスの開発・販売市場の拡大・マネーフローの拡大
- ・ 観光産業との連携：地方創生・活性化への期待健康イメージを売り出す戦略
- ・ 大学・学会との連携：エビデンスの創出・技術支援大学のイメージ・影響力を利用
- ・ 行政部局内の連携：全ての政策に健康の視点を健康をキイに部局の間を横串し保健・産業・観光・文教・農水・環境

連携によりヒトとカネを確保、さらに輪を広げる

「健康」をキーワードにした戦略

企業と保険者との連携が非常に大切。協会けんぽと連携して、健康宣言の公表、健診や健康づくりのための職場環境の整備、メンタルヘルス対策、健康優良企業の認定等に取り組む、高く評価されている県もある。

また、健康に関するサービスの開発・販売など、産業界、大学、行政間等の連携も重要。

今後は「健康」をキーワードにした地域ブランドやイメージを利用する戦略が人口減少や高齢化を克服する大いなる武器になっていくと思われる。

スマー ト 情 報

厚労省主催 全国規模のイベント

出張版

「データヘルス・予防サービス見本市」

11月に開催

厚生労働省は「社会全体における個人の健康づくりを促す仕組みづくり」を目的として、医療保険者、企業経営者等と、健康・予防サービスを提供する事業者等が出会い、協働・連携を推進させる場として「データヘルス・予防サービス見本市2016」を平成28年11月に開催します。

本イベントは、データヘルス計画実施の初年度となる昨年12月に東京で初開催され、今年の会場として宮城県(仙台市)が選ばれました。

仙台で開催決定

健康・予防サービス提供事業者等による展示・セミナーを中心に、全国規模のイベントを間近に体験できる貴重な機会です。また、スマートみやぎ健民会議の情報交換会も開催予定です。

なお、参加対象者は、医療保険者、企業経営者・人事・総務担当者、自治体等に限り、事前申込が必要です。

詳細は、今後、厚生労働省や県健康推進課のHPに掲載いたします。



写真：社会保障審議会医療保険部会の資料より

企業関係者の関心が高く昨年会場の東京国際フォーラムには多くの来場者で長い行列ができました。

連携紹介

角田市「広報かくだ」2016年6月より

平成28年2月から会員募集を開始し、初日から多くの申込みをいただいております。その会員の中から、今回は「角田市」と「角田まちづくり福祉ほっとの会」とが連携した取組状況をご紹介します。

楽しく活動して健康に

角田市に「健康プラン推進サークル登録団体のひとつである「角田まちづくり福祉ほっとの会」は平成18年に市民の健康増進や地域福祉の向上を目的に設立されました。主な活動は、月3回開催している「あぶくま健康塾」です。健康塾では、元氣回復ダンスやスロージョギング、ヨガ健康法、ヒューズトン(吹き矢)、食育講座などに取り組み、平成23年にはNHK「てれまさむね」で紹介されました。

角田まちづくり福祉ほっとの会



角田健康推進課

角田市では健康づくり活動を支援するために健康ポイント事業を実施しています。市や各地区振興協議会、第2次角田に「健康プラン推進サークル登録団体が主催した運動事業に参加した方に対して、市からポイントが付与され、貯まったポイントは角田ス



楽しみながら健康になる
ラフターヨガ(笑いヨガ)

結成当初は20人だった会員は現在56人を数えます。代表の笹森昭二さんは「日々新しいことへの夢を描き若さをキープするため、仲間たちとの強い絆で、生涯現役・生涯青春で頑張っています」と今後の目標を語ります。



ニコニコペースでゆったり走る
スロージョギング

タンブ会のポイントに交換される仕組みです。市では、今後も市民が健康で活力ある生活が送れるよう健康づくりを推進します。

「仙台けんこう WALK ラリー」が開催されます

第39回日本高血圧学会総会事務局主催スタンプラリーイベント

日本高血圧学会と日本生化学会の開催日に合わせて、9月24日から26日、9月30日から10月2日に仙台市中心部商店街と仙台国際センターで開催されます。

このイベントは、商店街を歩いてもらうことで、個人の健康と商店街の活性化につながることを目指すものです。参加無料で運動量計などが抽選でプレゼントされますので是非ご家族・友人を誘ってご参加ください。



アプリのダウンロードはコチラから
イベント参加は、右記のQRコードからアプリケーションをダウンロードしてください。お使いのスマートフォンをチェックポイントでかざして、スタンプを貯めていただけます。※こちらの用紙をお使いになっているイベント参加も可能です。

